

地震・津波想定の避難行動マニュアル

在校時の対応（担任は、名札の中に児童名簿を入れておく。）

〔児童等〕

〔教職員〕

緊急地震速報受信

- 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に避難する。
- 机の下に避難する時は、机の脚をつかむ。
- 上記の姿勢を維持する。

揺れがおさまった

- 近くの人同士けがをしていないか、声を掛け合う。
- 教室の後方（空いた場所）に集まる。

地震発生

初期対応

情報収集・避難指示

- 落下物・ガラスの破片等に注意して、第1運動場に避難する。
- 負傷者がいたら手助けして避難する。

- 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に避難するよう指示をする。
- 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所で頭部を保護するよう指示をする。

揺れがおさまったら

- 児童の安全・負傷状況を確認する。トイレや空き教室も確認する。

【管理職】津波等の情報収集とともに、安全な場所への避難の指示をする。

一次避難

- 第1運動場へ避難するよう指示をする。（状況により、より安全な避難先に誘導する。）
- 後方から状況を確認しながら誘導する。
- 配慮を要する児童等を誘導する。

安全確認

- クラスごとに集合し、人数を確認する。
- 負傷者や未確認者を担任に報告する。

- クラスごとに安全を確認し、管理職に報告する。

【管理職】把握している情報を全体に発信する。二次避難（校舎3階）三次避難（有功中学校）の指示を出す。

- 第2運動場へ迅速に避難する。
- 負傷者が多い場合、搬送を手伝う。
- クラスごとに集合し、逃げ遅れている人がいないか確認する。

- 校舎3階（有功中学校）に避難するよう指示する。
- 配慮を要する児童等を誘導する。

【管理職】津波特別警報の解除が発表されても、管理職が避難解除を決定するまで待機させる。

二次避難

津波特別警報発表時

学校災害対策本部設置

- 長時間の待機を想定し、お互いに声を掛け合う等自分たちにできることを行う。
- 寒さ・雨対策のために、校舎3階に戻るときは、清掃・待機場所づくりを行う。
- 人を探しに行かない。戻らない。

緊急避難場所での待機

- クラスごとに安全を確認し、管理職に報告する。
- 負傷者の確認と応急手当を行う。
- 役割分担に従い、各業務にあたる。
- 長時間の待機を想定し、児童等の体調管理、心理面のサポートにあたる。

- 引き渡しカードに必要事項を記入し、保護者とともに担任に渡す。
- 保護者不在、家屋が流失・損壊した児童等は、家族で決めた避難所に教職員と一緒に移動する。

事後の対応

- 被害状況や施設の状態等を教育委員会に報告し、必要に応じ支援要請を行う。
- 引き渡しを含め、災害状況、今後の対応等について保護者に知らせる。（引き渡しカード利用）
- 学校の施設・設備の点検、必要に応じ通学路の安全点検を行う。

